

2024

9

兵庫県商工連会報

No.773 2024.8.20 / 偶数月20日発行

# 翔光

(題字は齋藤知事)



## 「健康」という価値を売る新たな納豆の提案

有限会社相沢食産（福崎町）

有限会社相沢食産は昭和28年に大阪市内で創業し、昭和32年に神戸市灘区大石東町で稼働を開始した、納豆製造を営む企業である。阪神淡路大震災によって本社・工場ともに全壊し、現在の地である福崎町及び香寺町に移転することとなった。業界の動向が厳しい中、挑戦を続ける同社の取材を行った。（詳細はP4）



### CONTENTS

- 02 | 近畿府県連絡協議会通常総会／新任局長研修会他
- 03 | 県青連・県女性連 幹部講習会他
- 04-05 | あなたのまちの元気な企業・福崎町商工会情報
- 06 | 県職協通常総会・経営支援事例発表大会
- 07 | CC (チーフコーディネーター) コラム他
- 08 | SDGsにかかるエッセンス／Food Style Kansai

## 近畿府県商工会連合会連絡協議会 令和6年度通常総会

7月5日、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、近畿府県商工会連合会連絡協議会（会長：和歌山県連・植田会長）の令和6年度通常総会が開催された。当日審議した議案は次のとおり。

**第1号議案** 令和5年度事業報告及び収支決算承認について

**第2号議案** 令和6年度会費額（案）の決定について

**第3号議案** 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）決定について

**第4号議案** 任期満了に伴う役員を選任について

第1号議案から第3号議案までいずれも原案どおり可決承認された。

第4号議案では大阪府連・上村会長が新会長に、兵庫県連・小寺会長並びに滋賀県連・上西会長が新副会長に選任された。

また、当日の来賓として、近畿経済産業局産業部・鈴木部長が臨席され祝辞を述べられた。

なお、開催地県として、兵庫県・片山副知事、原田産業労働部長が総会後の懇談会に臨席され意見交換を行った。



へ 開催地県会長として挨拶をする小寺会長

## 新任事務局長研修会

6月3日、県下商工会の新任事務局長を対象に商工会事務局の管理者として組織の運営に必要な能力を身につけることを目的として新任事務局長研修会を開催した。

はじめに、県連合会の幸田専務理事から「商工会を取り巻く環境について」、篠原事務局長から「事務局管理者としてのあり方」について説明。

その後、中小企業診断士の橋本 佳士氏より「人事考課の基本」「コンプライアンス」について講義があった。

人事考課のテーマでは、人事考課の実践面の留意点を理解し、組織成果獲得のために被考課者の目標達成を支援す

る際の出発点となる目標設定について、目標記述の重要性や、被考課者の主体性を意識した面談の必要性を、ロールプレイングも交えて学習した。

コンプライアンスのテーマでは、成果評価の導入に際して留意すべき、過度な成果追求の弊害を理解すると共に、不正のトライアングル等を学んだ。

受講者一同刺激を受けた様子が見受けられた。



## 第1回 事務局連絡会議

6月25日に、六甲荘（神戸市）において第1回事務局連絡会議を開催した。

はじめに、関係団体から各種事業内容についての説明を受けた。続いて県連合会より、商工会プラン、事務局長等登録制度の運用、ハラスメント相談窓口等の設置、及び各

種補助事業の申請・採択状況等について報告を行った。また意見交換会では、各商工会の事務局長よりさまざまな意見や情報が寄せられた。



## 商工会管理者研修会

7月4日、事務局長を対象に商工会管理者研修会を開催し、心理的安全性の意義を理解した上で、部下との間に信頼関係を作り上げワークエンゲージメントを高めるコミュニケーションを実践で学んだ。

最初の座学では、職員1人1人のやる気や主体性を引き出すには、心理的安全性を高めるコミュニケーションが必要になる。心理的安全性を高めることは、情報共有がスムーズになる、業務の生産性向上が期待できる、業務への責任感が芽生えやすいなどのメリットがあると説明があった。

その後は、心理学に基づいた手法をロールプレイングで実践し、新時代のマネジメントを体感。ロールプレイングでは参加者一同熱心にノウハウを身につけようと取り組む風景が見受けられた。今回の研修で身につけたノウハウを活かして、これまで以上に活力ある商工会となることが期待される。



地域とともに  
発展する



**但馬銀行**  
TAJIMA BANK

〒668-8650 兵庫県豊岡市千代田町1番5号  
TEL 0796-24-2111  
URL <https://www.tajimabank.co.jp/>

未来を変えていく、健康増進型保険。



**住友生命 神戸支社**  
〒650-0031 神戸市中央区東町126番地  
神戸シルクセンタービル7F  
TEL: 078-391-3229

“住友生命「Vitality」”スペシャルサイト  
<https://vitality.sumitomolife.co.jp/>



# 県青連 第2回 商工会青年部幹部講習会 第29回 主張発表大会・商人ネットワーク

## 西村慎太郎君(新温泉町)・(有)戎屋菓子店(多可町)が最優秀賞に輝く!

7月17日、姫路市・ホテルモンテ姫路において、第2回商工会青年部幹部講習会 第29回主張発表大会・商人ネットワークを開催。県下から約160名の青年部員が一堂に会した。

主張発表大会では、各地区代表の7名が青年部活動と自身の事業に関する内容の発表があり、「青年部活動に参加して～青年部活動全力出していますか?～」と題して発表した、西村慎太郎君(新温泉町)が見事に最優秀賞に輝いた。続く優秀賞には、田中弘毅君(丹波篠山市)が受賞した。

続いて開催された講演会においては、家系学研究所 家族心理学 主幹研究員 小川敬氏を講師に迎えて「家族の歴史と心理学」と題してお話いただいた。

また、最後に同会場で開催されたひょうご商人ネットワーク商談会においては、

各地区代表の7社の出展があった。各社、メイン事業や新事業等をPRすべく、パワーポイントや動画を使用してプレゼンテーションを行い、最優秀賞を(有)戎屋菓子店(多可町)、優秀賞を(株)朝野家(新温泉町)が受賞した。

主張発表大会の最優秀賞受賞者、商人ネットワークの最優秀賞・優秀賞受賞者の合計3名は、9月5日に奈良県で開催予定の近畿大会に当県代表として出場する。



△ 主張発表大会 最優秀賞 西村慎太郎君(新温泉町)



△ 商人ネットワーク 最優秀賞 (有)戎屋菓子店(多可町)



△ 商人ネットワーク 優秀賞受賞者 (株)朝野家(新温泉町)

# 県女性連 役員視察研修会

6月18日～19日、県女性連役員の意見交換、他府県女性部の取組を学び交流を持つことを目的として、鳥取県東伯郡湯梨浜町にて役員視察研修会を実施し、13名が参加した。

1日目は、鳥取市内の観光施設等を見学。観光資源を巧く活用してインバウンドにも積極的に取り組み、地域経済の底上げを図っていることについて学んだ。

2日目は、全女性連のおもてなし事業を実施している、湯梨浜町商工会女性部を訪問。同女性部員から湯梨浜町の観光地や古刹の案内、ワークショップの実施、女性部が開発した地元産品を使ったオリジナル弁当の紹介があり、女性部事業の取組についての意見交換を行った。

参加した役員から、本研修をきっかけに全女性連のおもてなし事業に登録し県外の女性部との交流を深めて女性部の組織強化に取り組みたいとの意見があった。



# 第2回 幹部講習会

7月24日にアクリエひめじにおいて第2回幹部講習会を開催し、県下から約60名の女性部員が参加した。はじめに、開催地である中播磨地区の3女性部から女性部活動についての報告があった。

その後の研修会では、コラボレーション実践研究所所長・大阪公立大学名誉教授の山中京子氏をお迎えし、「女性部いらない…はて?絶対いる!その方法とは?」をテーマに、グループワークを実施。

女性部の課題である、若い年齢層や女性事業主の入部を促進するための方法等について、地区の垣根を越えて活発な意見交換がなされ、今後の女性部運営に役立つ良い機会となった。



**9月のこよみ**

- 2日(月)～3日(火) 女性部近畿ブロック主張発表大会
- 5日(木)～6日(金) 青年部近畿ブロック主張発表大会
- 9日(月)～10日(火) 金融審査委員等講習会
- 10日(火)・11日(水) 資質向上研修会
- 18日(水) ビジョン策定委員会
- 25日(水) 青年部・女性部・壮青年部合同講習会

**10月のこよみ**

- 8日(火) 壮青年部全国大会
- 9日(水) コミュニケーション研修会
- 18日(金) 経営支援事例発表近畿大会
- 23日(水)～24日(木) 女性部全国大会
- 28日(月)～29日(火) 商工会幹部研修会
- 29日(火) 事務局長候補者育成研修会



ジブラルタ生命は、お客さま一人ひとりを大切に心に届くサービスをご提供いたします。

**“As safe as the Rock”**  
～ジブラルタ・ロックのように安心～

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています



あなたのまちの  
元気な企業 ✦

## 納豆業界に新たな風を吹き込む小規模納豆メーカーの挑戦

有限会社相沢食産（福崎町）

白衣に身を包み、福崎町の工場に足を踏み入ると、ふんわりと漂う大豆を煮た香りが出迎えてくれた。工場内には機械が動く音や蒸気の吹き出す音が響き渡り、少し暖かい空気が肌に触れる。ここは有限会社相沢食産。挑戦を続ける小規模納豆メーカーだ。



有限会社相沢食産は、昭和28年に大阪市内で創業し、昭和32年に神戸市灘区大石町で本格的に納豆製造を開始した。しかし、平成7年1月の阪神淡路大震災で本社と工場が全壊し、事業継続の危機に直面した。そんな逆境を乗り越えるため、福崎町及び隣接する香寺町へと本社と工場を移転し、再び立ち上がった。

現在、相沢食産は兵庫県内で唯一の納豆専門製造会社として、その地位を確立している。品質向上のための商品改良にも力を注ぎ、全国納豆鑑評会では連続入賞を果たすなど、国内有名メーカーと肩を並べる水準にまで達している。



だが、納豆業界の現状は厳しい。日配品である納豆は一回の受注量が多いものの、販売単価が低いため、流通コストが嵩みやすい。さらに、燃料価格の上昇が資材の搬入や製品の輸送コストに影響を与えている。それでも大手メーカー

は販売価格を維持しているため、価格競争に敗れた中小企業は淘汰されつつあるのが現状だ。

このような厳しい外部環境の中、相沢食産は新たな展望を見据えている。納豆を日配品としてだけでなく、健康食品としての価値を提案することにより、経営の維持拡大を図る方針だ。その具体的な取り組みが、「しあわせの『美人納豆』シリーズ」だ。このシリーズは、健康を気遣う30代から50代の女性をターゲットにしており、健康増進、美肌、整腸などのニーズに応える納豆商品を展開する予定だ。



同シリーズは、健康に係るニーズに対応できる全6種類の商品ラインナップを展開する。「ピスタチオ（上部写真）、黒豆、枝豆、赤大豆、パンダ豆、もち麦入り」の納豆は、それぞれ独自の健康効果を持ち、消費者にとって魅力的な選択肢となるだろう。

例えば、ビタミンB2が豊富なピスタチオは、疲労回復や脂肪燃焼に効果が期待できる。また、ビタミンCを多く含む枝豆は、美肌効果があるとされる。

試作品の開発はすでに完了しており、今後の市場投入が待たれる。相沢食産は、この新たな展開により、健康志向の高まりに応じた新しい価値を提供し、納豆業界に新たな風を吹き込むことを目指している。

相沢食産の挑戦は、単なる納豆製造業の枠を超え、健康食品市場への大胆な進出を図るものだ。その背景には、伝統を守りながらも革新を続ける姿勢がある。同社の納豆は、単なる食材ではなく、健康と美を追求する新たな時代の象徴とも言えるだろう。

これからも変わらぬ品質を守りつつ、新たな挑戦を続ける相沢食産の未来に、大いなる期待を寄せたい。

取材先  
概要

事業所名 有限会社相沢食産  
代表者 相沢 勝也  
住 所 〒679-2215 神崎郡福崎町西治 2-48

TEL 0790-22-7118

URL <https://natto-aizawa.com/>

## 商工会の紹介ページ

## 福崎町商工会

## 商工会概況



会長 大井 克哉  
大井機工株式会社  
代表取締役

福崎町は古くから交通の要衝として栄え、多くの人とモノが行き交い町を形成してきました。その中で福崎町商工会は昭和35年に設立され、盛衰を経て現在も合併をしていない商工会として活動を続けています。

令和6年度も、昨年度に続き「行きます・聞きます・提案します」をスローガンに掲げました。コロナ禍で十分なコミュニケーションがとれなかった事業所への巡回訪問は非常に重要であり、潜在ニーズの発掘は急務となっています。そのような状況を踏まえて、多岐多様なサービスを提供し業務を行っています。

特に、この3月に第2期経営発達支援計画が認定され、事業の推進を通し

て地域の小規模事業者の自立する力を少しでも育み、支援機関として成果を出すことに力を注ぎたいと考えています。

また、青年部や女性部をはじめとする部会活動も活発に行われています。総務部会では商工会館の維持や運営課題の検討、役職員の交流事業などを、商業部会ではプレミアム付き商品券事業や産業祭を担当しています。工業部会では昨年度にDXをはじめデジタル技術やドローンの活用研修、SDGsに取り組む企業の視察を行いました。

さらに、町から依頼を受けて平成30年度に移動販売事業「移動スーパーふくふくまる」を開始し、地域の課題解決に向けた活動も行い貢献しています。

## 地域情報

## 「福崎町のもち麦」

福崎町のもち麦は、希少価値が高く、数あるもち麦の中でも最高品質のひとつとされています。第三セクターであるもちむぎ食品センターが「もちむぎ麺」をはじめとする商品の製造・販売を行っており、商工会も会員事業所と新しいメニューや商品を考案し、町内で「もちむぎ商品」が買える・食べられるお店を「福崎もちむぎショップガイド」で紹介しています。また、青年部・女性部や様々な団体が産業祭や各種イベントで「もち麦」を取り入れた商品などを販売しています。

## 「青年部が地ビール開発」

青年部では、妖怪による観光振興を背景に「話題になるお土産物を」と、ビールの開発に乗り出し、ビールの原料にもち麦を加え醸造した地ビール「GAJIRO BEER」(330ml入り・1本税込770円)を商品化しました。現在はテスト販売中で、イベント等での周知を行い、常設販売を目指しています。



左上から、齋藤職員、船田主任、木村係長、中川主任、大道係長、松田職員  
左下から、橋本副会長、小幡副会長、大井会長、吉澤事務局長、安本課長

## 福崎町商工会

〒679-2212  
神崎郡福崎町福田116-1  
経済交流センター・福崎町商工会館内  
TEL: 0790-22-0558  
FAX: 0790-22-4354

県職協

第12回 通常総会・第12回 経営支援事例発表兵庫大会を開催

6月8日、神戸研修センターにおいて第12回通常総会・第12回経営支援事例発表大会を開催し、県下から約220名の職員が出席した。

通常総会では、提出したすべての議案が承認され、「任期満了に伴う役員を選任について」において、古井会長他10名の役員が退任し、長谷川健二会長（豊岡市）他10名の新役員が選任された。

なお、長谷川新会長は6月21日の近畿ブロック商工会職員協議会通常総会において、同会の会長に就任された。

通常総会に引き続き開催した経営支援事例発表兵庫大会では、各支部の代表7人が日頃の経営支援の成果を発表。

「心と体を満たす家づくりを目指した提案型ブランディング支援～めくもりで世界を変える～」をテーマに発表した、中播磨支部代表・中村俊介氏（姫路市）が見事最優秀賞を受賞した。続く優秀賞には、西播磨支部代表・福田裕丈氏（宍粟市）が受賞した。最優秀賞の中村氏は10月18日に滋賀県で開催される近畿大会に兵庫県代表として出場する。

職員協議会



へ 通常総会であいさつをする古井会長



へ 最優秀賞を受賞した中村氏（姫路市）

令和6年度兵庫県商工会職員協議会役員名簿 (敬称略)

役職	氏名	商工会名	支部
会長	はせがわ けんじ 長谷川健二	豊岡市	但馬
副会長	たつみ ひろかず 辰巳博計	芦屋市	阪神
	こばやし けんいち 小林賢一	県連合会	県連
理事	ほんじょう なおや 本庄尚哉	多可町	東・北播磨
	もりぐち みきこ 森口幹子	神河町	中播磨
	いいだ さとし 飯田聡	宍粟市	西播磨
	いのうえ つよまさ 井上剛正	香美町	但馬
	まるやま たくや 丸山卓也	丹波市	丹波
	なかい ひでき 仲井英樹	南あわじ市	淡路
監事	なかしま しのぶ 中島しのぶ	朝来市	但馬
	はべ あつし 波部敦史	丹波篠山市	丹波



経営支援事例発表を行った発表者の方々

県職協会長 就任あいさつ



長谷川 健二  
(豊岡市)

私たち商工会を取り巻く環境は非常に厳しく、特に人手不足は深刻であり、今後の労働力確保はますます困難になっています。これは商工会においても例外ではありません。事実、県下商工会の中には欠員を抱えたまま新年度をスタートした商工会もあります。

新体制では、魅力的な商工会の実現のため「もっといい商工会を作ろうよ。」を合言葉に、いい商工会とは何

かを職員一人一人が考える機会を設けていきたいと思っています。

いい商工会を実現するためには全方位の戦略、言い換えるとダイバーシティの重要性を強調したいと思っています。性別や年齢も関係なく、多様な人々が活躍できる環境を整えることが必要です。多様な背景や視点を持つ人々が協力することで、新しいアイデアや解決策が生まれ、より創造的で強固な組織を築くことができると信じています。

私たち商工会は、地域の会員企業を支援し、地域経済の発展に貢献することを使命としています。「もっといい商工会を作ろう」という目標を掲げ、県全体で成長を目指しましょう。

兵庫型奨学金返済支援制度

兵庫県では中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施しています。

今年度から制度を拡充し、補助期間を従来の5年から最大17年に延長することで、若手従業員の経済的負担をさらに軽減するとともに、県内企業の人材確保を後押しします。

- 対象企業：県内に本社がある中小企業で、従業員に対し奨学金返済負担軽減制度を設けている。
- 対象従業員：対象企業に勤務する40歳未満の正社員で、日本学生支援機構の奨学金を返済している。
- 補助額：年間返済額の2/3（上限12万円）

〈お問い合わせ先〉 一般財団法人兵庫県雇用開発協会 Tel 078-362-6583



## 職員の支援スキル向上に向けた取り組み

私自身、現在の商工会に異動して今年で2年目、異動前と比較すると支援現場の第一線という立ち位置から、後輩職員の育成や管理業務、対外的な業務の割合が高くなり、具体的な支援案件をもって事業所と直接向き合う頻度が下がっている現状があります。

播磨町商工会は、局長含め職員数が4人と小さな組織ですので、全員で補完し合う必要があります。そんな中、業務に取り組む際に意識していることは、職場全体の相談対応能力の向上です。具体的には、各職員の未経験の業務を無くして、全ての相談対応をいつでも誰でも対応できる体制づくりです。私自身もそうでしたが、経験の無い業務に取り組むのは誰でも不安だと思います。二の足を踏んでしまったり、対応が後手に回ったりする事もあると思います。“見た事ある”や“やった事ある”を積み重ねていくために、全職員を対象に未経験業務ゼロに向けたOJTを導入しています。

これは、以前CC内でも共有させていただきましたが、業務内容毎に相談対応のフローを作成し職員間で共有

しています。その上で、担当者が対応する際に可能な範囲で同席させて「見せる」、「させてみる」、あるいは自席に居たまま、事業所とどんなやり取りをしているか、フローを追いながら確認する。これらを繰り返し実施していく事で、少しずつですが、誰でも初期対応や基本的な処理が出来るようになってきた感があります。

商工会はサービス業だと思います、飲食業などの接客業で導入されている、接客マナーの講習で講師の先生が言っていた“どんなに忙しくても、お客様からの呼びかけは、一旦、受けとめる”、“お客様が、自分が困っている事を認識してもらえた、受け止めてもらえたという安心感を与える”、これを相談に来られた事業所に対しても心掛けるとともに、職員間でも共通認識としています。担当者が不在でも、相談事をそのまま持ち帰らない、“私が受け付けます、対応します”これを実践すれば事業者にストレスや不満を与えることを回避できると思いますし、そうすることで、事業者と職員との信頼関係も構築でき、商工会の存在価値も高まっていくのではないのでしょうか。

## 第1回 チーフコーディネーター研修連絡会

6月7～8日、兵庫県民会館及び神戸駅前研修センターにおいて、第1回チーフコーディネーター（以下、CC）研修連絡会を開催した。

今回の研修は、東・北播磨ブロックのCCが企画担当となり、「経営力再構築伴走支援の実践」をテーマに実施したもので、芦屋市商工会の西畑氏、多可町商工会の横畑氏、宍粟市商工会の飯田氏が、実際に支援している事業者（3者）に参加いただき開催した。

内容としては、「ヒアリング（傾聴）⇒本質的課題の設定⇒計画書作成（提案）」をグループに分かれて伴走型支援を実践する。

第1回研修では、会場まで事業者にお越しいただき、ヒアリングを実施した。その上で、本質的な課題、提案書作成

に関してグループワークを行った。

質問の仕方、グループワークでの発言内容を通じて、支援者としての事業所の見方や経営に関する考え方など各CCとの違いを認識することで勉強になったとの感想が多数あった。

引き続き、各グループで事業所を訪問、課題解決のための計画の提案を実施する。CCからも参加事業者にも研修に協力して良かったと思っただけのような提案書作成をしたいという意気込みが聞かれ、経営支援能力の向上に意欲的なCCの熱意がうかがえた。



△ 事業者へのヒアリングの様子

## 第1回 経営支援担当課長連絡会議

6月28日に、全商工会の経営支援担当課長等が出席のもと「令和6年度第1回経営支援担当課長連絡会議」を開催した。

はじめに、中小企業庁取引課の塚本氏からフリーランス・事業者間取引適正化等法について、法律の目的、適用対象、その内容による管轄官庁の違い等について説明があった。

次に、広域指導センターの担当者から各事業の説明と情報提供を行い、当日説明した事業への質疑の時間を設けた。

最後に管内の経営支援業務における動向について、参加者間で意見交換を行った。近年はほとんどの商工会で創業

塾の参加者数が増加しており、創業支援に関するニーズが高いことがうかがえた。一方で、円安によるデメリットの影響が大きく、物価高により利益が逼迫し、価格転嫁が思うようにいかず、その中でコロナ融資の返済に追われるなど、厳しい経営環境が続いている状況も報告された。

今後も経営支援業務に関する情報交換を通じて、県連と商工会の相互連携を図りながら、組織全体としての経営支援力を高めるため、四半期ベースで本会議を実施していく予定である。

商工会発行研修用冊子

「必要とされ続ける企業になるために」より

中小企業の為のSDGsの使い方

3. 身近な話題とSDGsを近づけてみよう

突然ですが、日本の衆議院議員における女性の割合は、何割だと思いますか。答えは「1割」で、これは世界的に見ても非常に低い数字です。「ジェンダー平等」と聞くと少し遠く感じるかもしれませんが、自治会や職場の管理職の男女比を振り返ると、何か気づくことはありませんか。

SDGsが扱うのは、地球規模の大きな問題で「どう自分にかかわるのか」見えにくいと感じるかもしれません。しかし、周りを見渡せば、身近な社会の中にも課題はたくさん存在します。

身近な課題を見つけるには、何かを感じたとき「なんとなく気になる」で終わらせず、一歩踏み込んで実態をとらえることで、ビジネスにつながる隠れたニーズに気づけるかもしれません。

例えば…

- ・新聞やテレビのニュースを見る時、SDGsのどの目標に接するかを考えてみる
- ・自分の関わる地域の統計データを調べる
- ・課題に関わる人の話を聞く

次回、4章SDGsを経営に活かそうに続く



出展支援申込締切 8月30日(金)

日時 1月22日(水) 10:00~17:00 / 1月23日(木) 10:00~16:00  
会場 インテックス大阪 (大阪市住之江区南港北1-5-102)

応募条件 外食・中食・小売業界をターゲットとする食品・飲料に関連する、県内の商工会の会員が出展対象  
商工会を通してお申込みください

支援内容 ①トライアルブース1.5m×1.5mの特設ブース装飾を制作!

事業所ごとに希望のデザインで制作させていただきます。原則、今までに制作していない事業所を対象とします。その他、小間代、備品レンタル、電気や水道使用等、出展にかかる費用は各自ご負担いただきます。

②兵庫県商工会エリアでの共同出展エリアに設置

統一イメージの約50社が並び、会場で一番インパクトのあるエリアを演出します。

③FCPシートの作成支援

自社の商品の特徴や取引条件等を的確に把握してもらうための商談シートの作成を支援します。

④オンラインセミナー、個別相談の実施

出展に関する悩みやお困りごとを、登録専門家は何でも相談いただけます。

先着30社!



出展支援に関するお問合せ：兵庫県商工会連合会 広域指導センター（大上・梅谷） TEL 078-371-1362 開催概要 | FOOD STYLE Kansai 2025  
開催概要など詳細は公式HP等でご確認ください。出展規程は、FOOD STYLE Kansai 実行委員会に準拠します。 https://foodstyle.jp/kansai/

新規採用職員紹介

南あわじ市 小林 祐士



7月より南あわじ市商工会に配属となりました小林祐士と申します。前職は信用金庫に勤務しておりました。志望動機である地域経済の発展に尽力したいという思いを忘れず、微力ではございますが、精一杯業務に取り組みます。どうぞよろしくお願いたします。

従業員の 勤労意欲の向上に!



そんな社長さんの思いを、**国の退職金制度「中退共」がサポートします。**

●掛金を一部助成 ●全額非課税 ●カンタン管理  
—— 家族従業員の加入もOK! ——  
事業主と生計を一にする同居の親族のみを雇用する事業所の従業員も加入できます。

\*他の退職金・企業年金制度等との併用は詳しくはホームページをご覧ください。

(独)勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部  
TEL (03)6907-1234 FAX (03)5955-8211

中退共 検索



緑の募金へのご協力をお願いいたします

緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子供たちの環境学習などに活用しています。

●お振込みの場合●  
郵便局：手数料不要の払込用紙をお送りしますので、当協会までご一報ください。  
銀行：三井住友銀行 兵庫県行出張所 普通 3198438 (手数料が必要です)  
公益社団法人兵庫県緑化推進協会



●賛助会員入会のご案内●  
私たちの活動を応援していただく賛助会員を募集しています。  
入会金は不要です。会員としてご支援いただけますようお願いいたします。  
(1口10,000円/年)

公益社団法人兵庫県緑化推進協会 TEL 078-341-4070

事業所の地震・津波リスクに備える

火災共済

ひょうご共済 地震特約 検索

—ひょうごの中小企業を補償でサポート!—



ひょうご共済  
兵庫県共済協同組合